

各 位

上場会社名	菊水電子工業株式会社
代表者	代表取締役社長 小林 一夫
(コード番号)	6912)
問合せ先責任者	常務取締役管理本部長 齋藤 士郎
(TEL)	045-593-0200)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年10月28日に公表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,000	570	570	550	62.72
今回発表予想(B)	6,840	750	715	875	99.88
増減額(B-A)	840	180	145	325	
増減率(%)	14.0	31.6	25.4	59.1	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	4,874	3	5	△65	△7.19

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,800	550	550	540	61.53
今回発表予想(B)	6,640	690	670	840	95.88
増減額(B-A)	840	140	120	300	
増減率(%)	14.5	25.5	21.8	55.6	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	4,750	47	55	△165	△18.24

修正の理由

(1) 連結業績

経営環境は依然厳しい状況下であり、政府によるエコカー減税やエコポイント等の景気対策及び中国をはじめとするアジア諸国を中心とした需要の増加等に支えられ全般的に回復基調にありましたが、円高懸念や景気対策効果の息切れ等により先行き不透明感が続いております。

一方、当社グループが属する電子計測器、電源機器等の業界におきましても需要に回復の動きがあり、当社グループは環境・エネルギー関連市場向けに新製品の開発、積極的なソリューション営業活動に努めてまいりました。

この結果、電子計測器及び電源機器とも好調に推移していることから、売上高は前回予想を上回る見込みとなりました。

損益面につきましても、売上高の増加及び原価低減、経費削減等に努めた結果、営業利益、経常利益とも前回予想を上回る見込みとなりました。

また、繰延税金資産の増加に伴う法人税等調整額の計上が見込めることから、当期純利益につきましても前回予想を上回る見込みとなりました。

以上の理由から、平成22年10月28日に公表した通期業績予想を修正するものであります。

(2) 個別業績

連結業績予想の修正理由と同様であります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成22年10月28日発表)	—	0.00	—	15.00	15.00
今回修正予想	—	0.00	—	20.00	20.00
当期実績	—	0.00	—		
前期(平成22年3月期)実績	—	0.00	—	8.00	8.00

※今回修正予想の期末配当20円00銭には、記念配当5円00銭が含まれております。なお、前回予想の期末配当15円00銭には記念配当は含まれておりません。

修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つと位置付けており、業績に対応した配当を行うことを基本としつつ、企業体質の強化と今後の事業展開等を勘案し、内部留保にも意を用い決定する方針をとっております。

なお、当社は、平成23年8月8日をもちまして創立60周年を迎えます。

これもひとえに株主各位をはじめ、関係皆様方の温かいご支援の賜物と心から感謝しております。

つきましては、株主各位の日頃のご支援に報いるため、1株につき15円の普通配当に加え記念配当5円を実施することといたしました。

これにより、期末配当予想は、普通配当と記念配当を合わせ、1株につき15円から20円に修正いたします。

なお、期末配当につきましては、平成23年6月開催予定の当社第60回定時株主総会に付議する予定であります。

※本資料に記載されている業績予想見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

以上